

商店街活性化事業計画の概要

地域

新潟県新潟市

認定日

平成24年4月13日

事業名：地域住民への健康的ライフスタイルを支援する来街促進及びポイントサービス事業(通称：健康づくり事業)

事業者名： 万代シテイ商工連合会商店街振興組合

事業実施期間 平成24年4月～平成27年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・空き店舗を活用して近隣住民の来街の際の休憩スペースを設置。健康づくりをキーワードに、ウォーキングマップや商店街の健康に関する商品・サービスの情報を集約し、近隣からの徒歩来街者の増加を図る。また、健康に関する講座や交流会も開催する。
- ・徒歩来街を促進する「歩行ポイント」と、お買上げの際に付与される「買い物ポイント」導入する。買い物ポイントでは、店舗がお薦めする健康関連商品等に対して、独自に高い付与率が設定できることで、より健康志向の高い消費を促す。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

地域住民のアンケートでは、街への要望として「休憩スペース」や「来街手段へのサービス」等の声が多かった。さらに取り上げてほしいジャンルとしては「健康・スポーツ」や「グルメ・料理」、充実してほしい店舗・業種としては「飲食店」が挙げられた。

◆実施計画の主な内容

- ・休憩スペースとしてのサロンの設置を行い、健康志向の来街(徒歩や健康関連商品の購買)を促すために、健康関連情報の集約やウォーキングなどの講座を行う。また、近隣住民をターゲットとして地域の茶の間(定期的な寄り合い)の役割を果たし、コミュニティの形成を図る。
- ・2つのポイントサービス(歩行ポイントと買い物ポイント)を導入し、健康的な来街(徒歩)の促進と健康づくりを推進する商品による消費の囲い込みを図る。また、これらのポイント交換所をサロンに設置することで、定期的な来街を促す。
- ・個店の魅力向上策として健康食講座等を行い、参加者からのニーズ収集や情報共有によりポイントサービス等の戦略に活用していく。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・歩行者通行量を計画終了時の平成26年度に、平成23年度と比較して4%増を目指す。
(ラブラ万代前：12,298人→12,795人／伊勢丹前：12,283人→12,780人)
- ・商店街の売上を計画終了時の平成26年度に、平成23年度と比較して1.3%増を目指す。
年間売上：52,718百万→目標売上(平成26年度)53,417百万 ※1.3%増加

【商店街の様子】



【商店街の様子】



【イベントの様子】

